

**大麦栽培特報 第5号**

本年の大麦は、近年より茎数は少なめで、ほ場により茎数の差が大きい状況で推移しています。

※ なお、平成26産に比べると、福岡・小矢部とも、生育は昨年並～5日程度遅くなっています。

**◎ 赤かび病の防除について**

**予想される穂揃期（＝1回目防除時期）**

**福岡：4月22日～4月25日**

**小矢部：4月24日～4月27日**

○穂揃期と、その1週間後に2回目防除を確実に行いましょう。

**各防除時期の使用薬剤と10a当たりの散布量**

	<b>液剤</b>	<b>粉剤</b>
<b>1回目</b> 【穂揃期】 (穂が出揃った時期)	トップジンM水和剤 150g + 水 150ℓ	トップジンM粉剤DL 4kg
<b>2回目</b> 【1回目の7日後】	シルバキュアフロアブル 75mℓ + 水 150ℓ	ワークアップ粉剤DL 3kg

○液剤による防除の場合、防除の後、1時間程度（液剤が乾く時間）  
雨が降らなければ、一定の効果が得られますので、

雨天日でも短い晴れ間を利用して、適期の防除に努めましょう。

○農薬散布にあたっては、事前に散布エリアへの周知を図るとともに、他作物へ飛散（ドリフト）しないよう、風の弱い時間帯の散布に努めましょう。

殿

出穂期予想	1回目防除	2回目防除

<営農指導員からのコメント>